



城陽市歴史民俗資料館

# 友の会だより

編集発行：城陽市歴史民俗資料館友の会  
〒610-0121 城陽市寺田今堀1番地 城陽市歴史民俗資料館  
TEL0774-55-7611 FAX0774-55-7612 www.city.joyo.kyoto.jp/rekishi/  
発行日：令和6(2024)年12月25日

No. **54**  
2024.12

おれたちも、いるぜ **眷属**(けんぞく)

龍谷ミュージアム秋季特別展「眷属」を観て

城陽市歴史民俗資料館友の会会長 泰地 賢治

街々の木々がまだ色づいていない11月のある日、西本願寺前の龍谷ミュージアムで開催されていた秋季特別展「眷属」を観に行きました。それほど混雑もしておらず、静かに流れる時間の中、80件余りの宝物を堪能することができました。

そもそも「眷属(けんぞく)」とは何でしょうか。特別展の資料(図録)からご紹介します。

「インドで成立した経典にも登場する古い言葉である『眷属』は、中心となる尊格の身内、仲間、守護者などを意味します。すなわち様々な役割を与えられた者たちを指し、例えばお釈迦さんにとっての梵天・帝釈天や四天王、八部衆や十六善神、あるいはお薬師さんを守る十二神将、千手観音の配下となった二十八部衆、普賢菩薩とともに『法華経』を守護する十羅刹女(じゅうらせつによ)、お不動さんに仕える諸童子や弁天さんに従う十五童子など、実に多様です。またその姿も武装神から女神、童子、鬼神、獣神まで多彩です。こうした眷属は基本的に『天部』として位置づけられ、後に『眷属に付き従う眷属』まで登場します。」

私たちは、時代を超えた優れた仏教美術でもある多種多様な眷属と容易に接することができるという得難い環境にあります。例えば、私の好きな「阿修羅(あしゅら)像」や「迦楼羅(かるら)像」などからなる興福寺の「八部衆」。第38回研修見学会(2014年)で訪れた建仁寺では俵屋宗達が見ることが出来ます。東寺では「四天王」、「梵天」、「帝

釈天」などの諸尊が立体曼荼羅(まんだら)を形作っています。また、故戸花重利洲先生の案内(第3回仏像講座、2018年)で訪れた新薬師寺は、本尊木造薬師如来坐像を守護する「塑像十二神将立像」が有名です。今も色鮮やかな東大寺法華堂の秘仏「執金剛神(しゅこんごうしん)」(第5回仏像講座、2022年)も仏教の護法善神です。安倍文殊院で文殊菩薩(日本三文殊の一つ)の側に立つ「善財童子」も魅力的です。更に、日本の民俗信仰の中では、お稲荷さんの「狐」のように神の使いとされる動物も眷属として信仰されています。このように私たちの身近には仏様と共に多くの眷属がおられます。私は、今後とも新たな出会いを楽しみたいと思っています。

最近、京都府より「府内がインフルエンザの流行期に入った」との発表がありました(京都新聞、11月22日)。また、厚生労働省によれば「コロナも3カ月ぶりに増加した」とのこと(同上、11月23日)。この友の会だよりがお手元に届く頃は、皆様、新しい年を迎える準備にお忙しいことでしょうか。どうか、お身体に気を付けてください。そして良いお年をお迎えください。友の会も1月から新しい年度を迎えます。皆様にとって、友の会が楽しい場となりますようにいろいろと企画して参ります。また元気にお会いしましょう。一年間、どうもありがとうございました。そして、今後ともよろしく願いいたします。

## 事業報告 第58回研修見学会

実施日 令和6年6月1日(土)

行き先 大津市歴史博物館 特別展示「源氏物語と大津」-石山寺(光る君へ)  
びわ湖大津 大河ドラマ館 「源氏物語恋するもののはれ展」

参加者 31名(会員21名、一般9名、資料館1名)

# 大津市歴史博物館と石山寺を訪ねて

城陽市歴史民俗資料館友の会 会員 辻村 恵子

大津市歴史博物館は、高台にあって琵琶湖が一望でき、近江富士が美しい気持ちの良いところでした。

展示は館長の説明にあったとおり、各町のジオラマのクオリティが素晴らしく、とても細かく人物の動きや、表情まで作り込んであって楽しめました。特に視点をジオラマの人物目線まで下げて見ると、自分が町中に入っている様で、ジオラ

マの見方が変わりました。最初に博物館の楽しみ方、見方を教えていただけたのはとても良かったです。

石山寺は、何十年かぶりの再訪でしたが、大河ドラマの時節柄、特別展示もあり、多勢の人でにぎわっていました。月見亭まで上ると、高いマンションがたくさん建った今でも膳所と瀬田川の風景が眼下に広がり、ここから観る月に、才能豊かな紫式部が感銘を受けて、源氏物語を生み出したと言われるのも良くわかりました。さぞ美しかったことでしょう。

さらに感動したのは、ここが天智天皇の時代に石切場として使われていたことです。切り出し途中で残された丸い岩が、緑色に苔むして、注連縄



が張られており、前日の雨でキラキラ耀いていて、とても美しく、どこまで運ばれる予定だったのか、何に使われる予定だったのか、なぜ残されたのかなどとてもロマンを感じました。

岩や石が大好きなので、石山寺が、天然記念物の硅灰石の岩盤の上に建っているというだけでテンションが上りましたが新しい発見も色々あり、とてもいい経験ができました。

学ぶところは多くありましたが、事前に下調べをした方が更に現地での感動や理解が深まると思いました。今回の大きな反省です。

幹事の皆様、研修見学会ありがとうございました。次回の企画を楽しみにしております。

## 第 58 回研修見学会に参加して

城陽市歴史民俗資料館 学芸員 坪内 加菜

6月1日、大津市歴史博物館と石山寺の研修見学会に同行させて頂きました。本年のNHK大河ドラマは紫式部や『源氏物語』を取り上げた「光る君へ」で、それらに関する展示や寺院を見学できると聞き、とても楽しみにしておりました。

はじめに大津市歴史博物館を訪れました。講堂にて館長より館内の解説をうかがい、その後館内を見学しました。常設展では、古代の大津宮や中世の堅田、そして近世の大津宿の賑わい、また大津絵等を目の当たりにし、時間があっという間に過ぎました。また、特集展示「源氏物語と大津」では、『源氏物語』の一般層への広がりや絵画等の普及から感じ取ることができました。

石山寺では見事な碓灰石や懸造の本堂を参拝後、境内で開催中の「光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館」へ。そこでは大河ドラマ「光る君へ」の映像やパネル等で紹介がありました。特に、

放送時見事なカメラアングルだった五節の舞姫のシーンの衣装を間近に見ることが出来たことは大変嬉しかったです。また、ドラマ館に隣接する「源氏物語 恋するもののあはれ展」では、『源氏物語』が著わされた平安時代の和歌と、現代の感性をリンクさせた斬新な視点での展示を楽しむことが出来ました。

今回『源氏物語』や大津の歴史について、興味の深まる研修見学会になったかと思います。また城陽市域は、平安時代に貴族が京から奈良へと移動する際に通行した地でもありました。その道が、今回訪れた大津までつながっていたことを思うと、平安時代の城陽の理解も深まりました。ありがとうございました。



## 事業報告 第59回研修見学会

実施日 令和6年11月17日(日)

行き先 賀茂別雷神社(上賀茂神社)  
- 京都府立植物園 - 下鴨神社

参加者 17名(会員16名、資料館1名)



# 第59回研修見学会に参加して

城陽市歴史民俗資料館 調査員 北川 里奈

11月17日、上賀茂神社を始めとする京都市洛北への研修見学会に添乗員として同行しました。天気予報では雨の可能性があるとのことでしたが、当日は見事な晴天となり、絶好の見学会日和でした。

まず、始めに上賀茂神社を訪れました。国宝である本殿と権殿を参拝する際、神職の方から神社で祀られている祭神の誕生にまつわる神話「賀茂神話」についての説明を受けました。この神話は山城國風土記に記されたと伝えられていますが、原本は現存しておらず、他の文書に引用される形で部分的に知ることができます。大昔の文献や実物が現代まで残っていることの奇跡、後世に繋い

でいくことの大切さ、そして歴史研究の重要性をあらためて感じることができました。

次に、京都府立植物園を訪れました。京都府立植物園は今年で、開園から100年を迎えます。事前にボランティアガイドの方に歴史にまつわるものを中心に案内をお願いしていたこともあって、100年の歴史を強く感じることでできるスポットをたくさん見学することができ、とても興味深い時間を過ごすことができました。

最後に、下鴨神社を訪れました。紀元前3世紀ごろの原生林の植生を今に伝える糺の森は、歩くだけで積み上げられた歴史の深さに圧倒され、神聖な気持ちになることができました。



今回の研修見学会では、京都の歴史と文化の深さを改めて実感しました。天気にも恵まれ、参加者の皆様とともに有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



# 鴨長明の方丈の庵

第59回研修見学会で訪れた下鴨神社の摂社である河合神社の近くには、鴨長明が結び、日本三大随筆の一つである「方丈記」を執筆したといわれる方丈（約3m四方）の庵が再現されています。

「方丈記」の原文から、庵の設えを記載した箇所をご紹介します(出典 新訂「方丈記」岩波文庫)。

「日野山の奥に跡を隠してのち、東に三尺余りの庇をさして、柴折りくぶるよすがとす。南、竹の簀子を敷き、その西に関伽棚を作り、北によせて、障子をへだてて阿弥陀の絵像を安置し、そばに普賢をかき、前に法花経を置けり。東の際に蕨のほとろを敷きて、夜の床とす。西南に竹のつり棚を構えて、黒き皮籠三合を置けり。すなはち、和歌、管弦、往生要集ごときの抄物を入れたり。かたはらに琴、琵琶おのおの一張を立つ。いはゆる折琴、繼琵琶これ也。仮の庵のありやう、かくの如し。」

日本古典文学全集 27「方丈記 徒然草 正法眼蔵随聞記 歎異抄」(小学館)には上記の内容に基づいて描かれた「方丈図」が記載されています。



て、板と板や、板  
固定してあるのだ  
「ずせば分解できる  
「兩」は車兩の兩。  
に二台分。一四車  
段」と同じ。一六用

で供養の意。仏前  
の水や、その容器  
などを置く棚をい  
は戌亥の隅の信仰  
れる所(三谷栄一「日  
的研究」)。元春の  
れずに伸びすぎたも  
又の東半分を寝床に  
右脇臥(うきふし)の形で  
寝られる。

に方丈図である。  
閉め切りにしてみ  
より壁面・扉・戸  
にてあろう。

には、さらに他のようとういらす。  
今日野山の奥に跡を隠して後、東に三尺余  
りの庇をさして、柴折りくぶるよすがとす。  
南竹の簀子を敷き、その西に関伽棚をつ

(三)境 涯  
くり、北によせて障  
子をへだてて阿弥陀  
の絵像を安置し、そ  
ばに普賢をかき、前  
に法花経を置けり。  
東のきはに蕨のほと  
ろを敷きて、夜の床

方丈図(頭注末尾参照)

と枝に岩 庵の 立ある本 いし 蕨の 阿の 西の 簀よ

# 『古文書講座（重宝記を読んで）アンケート』のまとめ

城陽市歴史民俗資料館友の会 会員／古文書講座担当 村上 弘芳

## 古文書講座を再開しました

- ・開催日 7月26日(金) 及び 8月2日(金) 10:15-11:45 (全2回)
- ・参加者 31名
- ・講師 城陽市歴史民俗資料館調査員 水沼尚子氏
- ・内容 「重宝記」(江戸時代の百科事典)を題材とし、市民生活を読み解き、当市に残る関連する古文書も紹介



☆第2回目出席の方から回答をいただきました(22名)

Ques.1:今回の講座(重宝記)は如何でしたか?(該当項目に○を付けて下さい)

- |                |             |
|----------------|-------------|
| ①理解できて楽しかった 7名 | ②少し難しかった 6名 |
| ③難しかった 8名      | ④無回答 1名     |

Ques.2:回数はどうだったでしょうか?(全2回)

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| ①これ位で良い 7名 | ②もう少し多くても良い 14名 |
| ③無回答 1名    |                 |

Ques.3:講座の進め具合(スピード)は如何でしたか?

- |             |            |
|-------------|------------|
| ①普通であった 8名  | ②少し早かった 6名 |
| ③かなり早かった 5名 | ④無回答 3名    |

Ques.4:古文書講座に参加されたことは？

- ①初めて 7名
- ②複数回参加 10名
- ③毎回参加している 5名

Ques.5:年齢層をお尋ねします。

- ① 50代又はそれ以下 0名
- ② 60代 2名
- ③ 70代又はそれ以上 20名

Ques.6:本講座はどの様にしてお知りになりましたか？(複数可):

- ①会員への案内(友の会だより・案内葉書) 16名
- ②資料館や友の会のホームページ 4名
- ③市の広報紙 6名
- ④その他 1名

Ques.7:今回のご感想やご意見また、今後どのような古文書講座を希望されるのか(例えば初心者対象から始めて徐々にレベルを上げる等)をご自由に書いて下さい。

(全て反映される訳ではありませんが、検討材料とさせていただきます)。

< ご意見等 >

- ①はっきりしたお声でお疲れになられたでしょう。有難うございました。
- ②各自読んで下さいと言われても、読めないから来ているのでこの時間は無駄な気がします。一緒に読み解いてもらう方が良いです。読める人ばかり参加している訳ではありません。内容が多すぎる気がします。(難易度は「少し難しかった」と回答)
- ③入門講座をもう一度お願いしたい。(難易度は「難しかった」と回答)
- ④何度受講しても難しい。(年のせい?) 本当に初心者から受講したいですね。例えばスライドも使用して戴ければわかりやすいかも。(難易度は「難しかった」と回答)
- ⑤年に2~3回あった方が嬉しいです。
- ⑥初心者からレベルを上げる方向でお願いします。(難易度は「難しかった」と回答)
- ⑦気楽な気持ちで参加しました。私にとっては、とても専門的な話だったので場違いな所に来たなあと思いました。2回目の時は少し親しく感じました。(難易度は「難しかった」と回答)
- ⑧回数は少なくとも良いので間隔を短くして開催して欲しい。例えば、2か月に一日とか。それにより、年間勉強機会が得られ易くなる。(難易度は「少し難しかった」と回答)
- ⑨古文は難しいものとあきらめていましたが、読むキッカケになりました。「理解できて楽しかった」と回答)
- ⑩「重宝記」という題材が大変興味深いものでした。他市から来ていますが、良い経験をさせて戴きました。(この方の情報源は Ques.6.②資料館や友の会の H.P.) この様な一般の人々(町民・農民)の暮らしがわかる様な講座にして戴ければと思います。(「理解できて楽しかった」と回答)
- ⑪文書にまつわる時代背景についてももう少し解説があれば有難いと思う。(「少し難しかった」と回答)
- ⑫読み下し文がしっかり理解できず困りました。内容が多くてもうちちょっとユックリ進めて戴きたいと思います。(「難しかった」と回答)
- ⑬平家物語や吾妻鏡などを~。
- ⑭題材である「重宝記」について全く知見はありませんでしたが、楽しく受講できました。有難うございました。開講時に言われていた「講師~聴講生の間のカッチボールがもう少しできていれば」より活発なクラスになったのではと思います。

## 歴史民俗資料館年間事業予定

令和6年度冬季企画展

「ちょっと昔の暮らしと風景－EXPO'70万博の思い出－」

期 間：令和7年1月25日(土)～3月20日(木・祝)

大阪・関西万博の開催を記念して、1970年の大阪万博の思い出の資料を紹介します。  
また、ちょっと昔の道具もたくさん展示します。

関連事業 手作りワークショップー昭和レトロシリーズー

①昭和レトロをモチーフにしたキーホルダーをつくろう！

日 時：令和7年2月9日(日) 13:30～15:30

②ミニかごをつくろう！

日 時：令和7年3月2日(日) 13:30～15:30

③糸つむぎと綿繰り体験をしよう！

日 時：令和7年3月16日(日) 1回目 13:30～ 2回目 14:30～

※①～③共通

申込み：①2月2日(日) ②2月23日(日) ③3月9日(日)

定 員：①②先着10名 ③各回先着10名

対 象：小学生以上

参加費：無料

体験教室

①水引細工体験

日 時：令和7年2月2日(日) 13:30～15:30

対 象：18歳以上

定 員：10名(先着順)

参加費：200円

申込み：1月26日(日)10:00から電話で申込み

②組みひも体験

日 時：令和7年2月23日(日) 13:30～15:30

対 象：小学生以上

定 員：10名(先着順)

参加費：200円

申込み：2月16日(日)10:00から電話で申込み

③朱印帳をつくろう！

日 時：令和7年3月9日(日) 13:30～15:30

対 象：18歳以上

定 員：10名(先着順)

参加費：300円

申込み：3月2日(日)10:00から電話で申込み

勾玉をつくろう！

日 時：令和7年3月20日(木・祝) 13:30～15:30

対 象：小学生以上

定 員：10名(先着順)

参加費：200円

申込み：3月13日(木)10:00から電話で申込み

上記以外にも、常設展示室の近世、近代、民俗コーナー、ギャラリー(通路)などで季節や時期に合わせて資料の展示替えを行う予定です。ご来館の際にはぜひ常設展示室の展示もご覧ください。



歴史民俗資料館年間事業についてのお問い合わせ  
城陽市歴史民俗資料館

電話 0774-55-7611 FAX0774-55-7612